

創造的学びのために

東日本大震災と福島原発事故という大災厄から2年、多くの人々のがんばりにもかかわらず被災地復興への確たる道筋は未だ見えていません。これから、被災地のニーズに寄り添った息の長い支援が必要になります。長崎大学の福島支援活動も、川内村に拠点を設け村民の皆さんの帰村支援を開始するなど、新たな段階に入ります。

この間の教訓は、被災地のみならずこの国の未来は不確実性の闇の中にあること、そして今まさに新しい価値観、新しい創造が必要であることです。

次世代を担う長大生には創造性あふれる人材として育ててほしいものです。そのためには、受身ではなく、主体的に学ぶ、創造的学びの技法を身につけ、それを通してこれまでの常識を超越することのできる想像力を培わねばなりません。



本を読み、情報を集め、考え、表現し、議論する。そして決断し、行動を起こす、これら一連のプロセスが創造的学びの技法であり、想像力の源泉となります。そもそも、文字という単なる記号の羅列である文章を読むという行為は想像のプロセスそのものであり、

爾来、読書は想像力養成の最も有効な手段でした。しかし、現代の学生たちには、それを起点に、情報収集、ディベート、そしてアクションにつなげる資質が要求されます。

この度新生なった文教キャンパスの図書館には、

図書・文献・資料を収集管理する機能に加えて、学生諸君が情報ネットを駆使し、互いの情報を交換し、議論するための新しい機能が加わりました。新生図書館は、長崎大学の新しい顔として、新しい学びの拠点としてスタートをきります。

長崎大学長 片峰 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.43

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	創造的学びのために	1	表紙のはなし
特集 1	新生! 図書館	2	オープンにむけて急ピッチで準備を進める図書館に、一足先に入った撮影隊。モデルになってもらった学生たちも「うおお、キレイになった〜!」「感激!」と興奮気味でした。「オープンしたらまた来て、しっかり勉強してくださいね」という職員の声に「はい!」と一同元氣よく。表紙モデル/小北健人さん(経済学部)
特集 2	進化する長崎大学病院	9	
卒業生に聞く	青来有一さん	15	
	寺島実郎から長大生へのメッセージ	17	
	グラバー図譜「テンジクダイ」	19	
Information	平成25年度 長崎大学公開講座	21	
	長崎大学「通」クイズ	22	
	編集後記	22	